

■ロボットに出来ないこと

今月はロボットと人間の違いについてです。近年、人工知能が発達し、将棋や囲碁のプロが人工知能に打ち負かされ、「将来、ロボットが人間の仕事を奪うのでは」といった記事を目にする機会が増えました。確かに歴史を振り返れば、人間の仕事は次々と機械に置き換わってきました。ロボットが進化すれば人間の仕事は変わらざるを得ないかもしれません。

しかし、逆にこのことは『人間にしか出来ないことは何か』を私たちに問うているように思います。私は、人間にできてロボットにできないことは『願うこと』だと思っています。願うとは、ヴィジョンを描くことであり、希望を持つことであり、夢や志を持つことです。もともと機械もロボットも人間の願いから生まれたものですが、ロボットが願いを持つことはできません。どんな人生を送りたいか、どんな人になりたいか、どんな仕事をしたいか。願いを持ち、その実現に向けて現実に向きかけることは人間の喜びであり、ロボットにない真の能力であり、生きがいではないかと思います。たとえそれがどんなにささやかに見えるものでも、それは比較すべきものではなく、どれもかけがえのないものではないかと思うのです。

私の願いは、ユニティを経営理念のとおり『みんなが幸せに生きる』会社にすることです。皆さんの願いは何でしょうか。

2017年、私たちが本当の願いを果たしていくことができる一年になりますように。

代表取締役社長 八木 陽一郎

